

社会医療法人 明和会医療福祉センター

業種
医療・福祉業

〒680-0011 鳥取市東町3丁目307番地 <https://www.mmwc.or.jp/>

創立 1953年 従業員 710名(男性239名 女性471名)



わが社の紹介

渡辺病院とウェルフェア北園渡辺病院を中核に、「心の医療」「認知症医療」「高齢者の慢性重度の病態への継続ケアならびに回復期リハビリテーション」を担う社会医療法人です。約710名のスタッフが働いています。毎年約20名の育児休業が発生し、育児休業からの復帰も約20名ですから、仕事と家庭の両立は、とても大切なテーマです。



こんな取組をしています

スタッフの女性比率が高い一方で、病院は365日24時間体制を求められる職場です。夜間や勤務時間の制限があるなかでも、元気に頑張り続けられるような職場づくりが大切です。私たちの法人では、性別、年齢、家庭環境等に関係なく、誰でも多様なライフスタイルを実現できるよう、「仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）」を推進しています。ワーク・ライフ・バランス制度では、5段階の勤務ステップによってスタッフ一人一人が夜勤回数や勤務時間数などを柔軟に組み立てます。年度途中で家庭環境の変化に合わせて勤務ステップを変更することも可能です。育児短時間制度も、夕方定時まで働く代わりに1週間に1日休日を増やす週休3日制を選択できます。



取組みの効果

鳥取県でも、ナースや介護士など、医療従事者の確保は深刻な課題とされます。当法人では過去10年以上、育児理由の離職がなく、離職率も低く推移していますから、一定のゆとりをもった体制を維持しています。「鳥取県うれしい職場ささえる大賞最優秀賞(2010年)」「均等・両立推進企業 厚生労働大臣優良賞(2016年)」など、男女共同参画の取組みとして評価をいただきました。



取組を実践した従業員の感想

私は、育児休業から復帰後、ワーク・ライフ・バランス制度(週休3日制)を利用しています。初めての育児で慣れないことも多く、仕事を続けていけるのか不安もありましたが、周りの方々に支えられ、副主任看護師として認知症看護に携わっています。毎日早く帰宅する育児短時間と比較して、週休3日制では夕方定時まで働くので、チームの1日の流れを掴めるメリットがあります。また、1日休みが増えると、気持ちも体も楽になります。

周りにも育児経験を経て頑張り続けているスタッフが多いので、わからない事や悩んでいる事で相談にのってもらったり、子どものことでの急な勤務変更も「お互い様だよ」と言ってもらったりしています。よい環境に恵まれて感謝しています。



トップからの一言

仕事と家庭を両立した職員が元気になると、今まで以上のゆとりをもって患者さんに接することができるようになります。今後も基本行動指針に掲げる「人にやさしい」「人を育てられる」「心の通い合う」チームづくりに取り組んでまいります。

